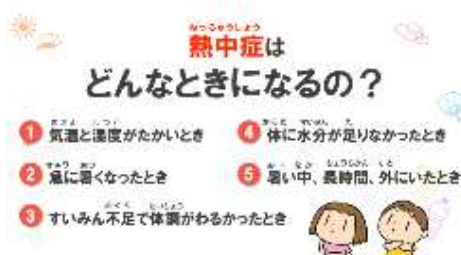


東京都渋谷区 小学校での暑さの「見える化」

- 区内小学校にWBGTセンサー、大型パネルを設置。熱中症予防や対策を普及・啓発する教材も作成し、児童自身が熱中症対策とリスクを認識し、自主的な予防行動を習慣化することを促す。
- クールスポットとして**屋外型エアコン**を設置、児童が安心して外で活動できる環境を整える。
- 現地データを小学校（校長先生、副校長先生）、教育委員会にも迅速に共有



▲校庭への出入口に設置された大型パネルとその表示例



▲熱中症予防や対策を普及・啓発する児童向けの教材

◀屋外型エアコン

■工夫した点

- ・大型パネルに顔のイラスト（「しろまるくん」）を表示することで、児童が具体的な基準を理解でき、熱中症予防行動を身につけられるようにした。また、イラストを多用した教材を制作し、7月1日の全校朝礼にて熱中症対策について講習会を開催した。